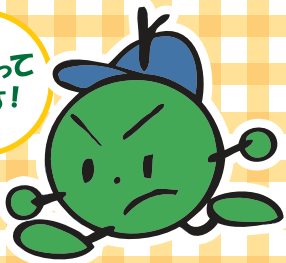


がんばって
います!



こどもエコクラブ

～三重県のこどもエコクラブ活動紹介～

あおぞらクラブ (鳥羽市)

- ・会員数 あおぞら保育所 3・4・5才児95名
- ・サポーター数 職員23名と保護者 ・クラブの構成 保育所
- ・代表サポーターの寺本先生に聞きました



写真①ペットボトルで風鈴を作ったよ!

あおぞらクラブは、鳥羽市の環境課が開発をした生ごみ堆肥ケース「ひなたぼっこ」の設置を機に3年前から始まりました。給食から出る生ごみの減量をし「ひなたぼっこ」でできた堆肥を使って畑作りをしています。

今年はどうもろこしやスイカ、へちまなど園庭の小さな畑でも堆肥のおかげで豊作!エコカーテンもゴーヤやふうせんかずらで大成功、みどりの涼しさをいただきました。



いつどのよう
にできたのですか?

ゼロ吉君との出会いや出前トークで「CO₂体操」や「リサイクル」について学び、エコへの一歩を踏み出してから、「遊具や材料を大事に使うこともきちんと片づけることもエコなんや」と気づいたり、空箱で誕生児の冠作りやペットボトルでの風鈴作り、雨水集めをして色水遊びをしたりと、廃材や自然を活用しています。



写真②生ごみ堆肥ケース「ひなたぼっこ」

みんなが「エコってなんだろう?どんなことがエコなのか?」と考え、関心を持つようになったことが大きな収穫!バナナやミカンの皮は捨てればごみになるが「ひなたぼっこ」に入れたら堆肥になること、その堆肥を使えばおいしい野菜がとれてクッキング、食育にも繋がっています。



どのような活動
をしていますか?

鳥羽市は一人当たりのごみ量が県下一多いとか。これにはがっかり!大好きな鳥羽がごみではなく花いっぱい、のきれいな町になるように、「ひなたぼっこ」の活用でごみの減量の大切さを!自然や物を大事にする保育の中で自分で考えたり工夫する力を付けてほしいです。それがエコであり、地球となかよしになることなんですよね。



写真③ゴーヤがとれたよ!



どのようなこと
子どもに伝えたいですか?

日々の生活や遊びの中にはエコなことがいっぱい!ちよっとしたことを見つけて工夫する「あおぞら保育所ちよっとしたエコな保育」楽しみ中です!

家庭には「わが家のちよっとしたエコ」を募集!お家の方からもエコな話が次々と届きエコへの関心が高まってきています。

こども エコクラブとは

- 入会費・登録費無料
- お問い合わせは
環境学習情報センターまで

幼児から高校生まで誰でも参加できる環境活動のクラブです。こども達の興味や関心に基づいて、身近な地域の中でできる活動に自由に取り組みます。仲間が集まればどんなグループでも「こどもエコクラブ」として登録して活動を始めることができます。



こどもエコクラブイメージキャラクター「エコまる」
<http://www.j-ecoclub.jp>